

ちなみに、

今年は台風で翻弄される夏を過ごしたきみちゃんです。東京出張の帰りに那覇でフェリー欠航が続くこと2日。3日目にしてやっとフェリーが出航したと思ったら、今度はえらぶが抜港! 予定より5日も遅れてやっとえらぶに帰ってきて、今、この原稿を書いています…。



八月上旬、名古屋の金城学院大学佐藤奈穂研究室の学生さんたちがえらぶにやって来ました。彼女たちの研究室では、毎年三年生が中心になり、「ディアガール」というプロジェクトを実施しています。実は、その「ディアガール」とわたしがえらぶで実施している「うみのたからものプロジェクト」がコラボすることになったのです！

「ディアガール」は「カワイイで私がかわる、世界をかえる」をコンセプトとしたカンボジア女性の就労支援につながるプロジェクトで、金城学院大学の学生とカンボジアの女性たちが一緒に創りあげるアクセサリブランドの名称でもあります。学生がデザインしたアクセサリをカンボジアの女性たちが製作し、日本で販売、その収益を現地の女性たちに還元するというスタイルで、社会貢献を堅苦しいものではなく、「共に楽しむこと」と捉え活動されています。今回は「うみのたからものプロジェクト」でビーチクリーンをした子どもたちと一緒に拾い集めたシーグラスやシー陶器を素材としたアクセサリを製作し、販売してもらえることになりました。「ディアガール」の活動は、ビーチクリーンをただの清掃活動で終わらせず、楽しいものにしたという「うみのたからものプロジェクト」との親和性も高く、これまでの活動がこうして世界とつながるかと思えば、うとわくわくが止まりません！

今回の来島では、彼女たちも実際にえらぶの浜でビーチクリーンをしてくれて、へ放課後のまなび場への子どもたちにもカンボジアについているいろいろなお話を聞かせてくれました。また、九月上旬にはカンボジアとウェブカメラをつなぎ、現地の子どもたちと遠隔交流する機会もいただくことができそうで、えらぶでの活動がこうして子どもたちにつながっていくことは本当にうれしい限りです！

ちなみに、九月には鹿児島大学と大正大学の研究室が来島予定です。これからもいろいろな地域、組織とのご縁を大切にしながら、島内外からえらぶを盛りあげることができるよう、がんばっていききたいと思います！



1_環境省による特別講座で外来種について学びました。2_シーグラスがあまりない喜界島にえらぶのシーグラスをお届けしました。3_PTAでビーチクリーン。ご協力ありがとうございました! 4_「うみのたからものプロジェクト」の作品たち。5_マンタ発見!!